平成26年度実施事業に対する外部評価 議事要旨

	, 54, 11, 2, 7, 11, 11, 11, 11, 11, 11, 11, 11, 11,		•	
議事概要				
会議の名称	平成26年度実施事業に対する外部評価(健康	もづく り	)推進事業)	
開催日時	平成27年9月28日(月)午前10時55分か	1611	時45分まで	
開催場所	長久手市エコハウス 多目的室			
出席者氏名	委員 和泉 潤			
	委員 杉山 知子			
	委員 下崎 一洋			
	委員 高野 晃二			
	委員 山口 秋男			
	担当課 福祉部長	山下	幸信	
	福祉部次長兼福祉課長	清水	修	
	健康推進課長	加藤	登美子	
	健康推進課課長補佐兼健康増進係長	南谷	学	
	事務局 行政経営部長	水野	悟	
	経営管理課長	髙木	昭信	
	経営管理課経営管理係長	山田	克仁	
	同主任	伊藤	雄亮	
欠席者氏名	なし			
傍聴者人数	8人			
会議の公開・非公開	公開			
審議の概要	外部評価 (健康づくり推進事業)			
問 合 先	長久手市行政経営部経営管理課 0561-5	56-	0 6 0 0	
備考				

担当課	<資料に沿って説明>
委員	健康講座の開催場所、時間や参加者の費用負担はどのようか。
	また、撮影された DVD は市民へ配布したのか。あるいは販売した
	のか。
担当課	健康講座は主に研修室で行っている。時間帯は午前又は午後。参加
	者の材料費を除いて費用負担はない。
	DVD は、普及員に普及目的として配賦している。DVD は 1,000 部
	作成した。データは市ホームページでも掲載している。
委員	健康講座の募集方法は。ターゲット層はあるのか。
担当課	   広報や市ホームページで募集を行っている。ターゲット層は特に想
3	定しておらず、市民から広く募集しているが、実態としては高齢者の
	参加が多い。
	<i>ジ</i> ル ル ・ ク ヾ ・ 。

委員

参加者数が人口から比すると少ないように思うが、定員上仕方がないことなのか。または、さらに増加させる予定か。

担当課

DVD の練習参加者は、映像の枠内に収まりきる人数を想定して、50人を3箇所として計画した。

委員

元気の出る体操は普及しつつあると思う。出前講座の制度を活用するなど、講習会を段階的に進めることが普及には効果的ではないだろうか。

また、健康講座に関しては、受け手である市民のニーズ把握も重要 と考える。

担当課

講座の種類によって参加者数に隔たりがある。広報手段についても、 意識的に前に出て行くなど、工夫が必要と考えている。

委員

講座内容の見直しはどのようなことを考えているか。

担当課

歯の健康に関する講座の参加者数が伸びていないので、その分野の 強化をすることを考えている。

委員

講座内容の見直しを行うにあたっては、どのような需要があるかを 把握することが大事である。例えば、テレビ等で入手する情報とどう 差別化を図っていくかを検討することも必要である。

成果指標について、健康寿命は指標にはならないか。

担当課

国の健康寿命の定義を指標とするには長久手市のサンプルが少ないので、適用できない。

委員

計画に記載した健康寿命の定義をそのまま使えば、比較可能ではないだろうか。目標値を人数とすると、定員超過した場合に測定不能となってしまう。講座に来ない人に対してどうアプローチしていくかといった視点も必要ではないだろうか。

委員

市民からのニーズの内容は把握しているか。

担当課

講座内容の希望については要望を承っている。平成 26 年度から開始した事業のため、本評価における事業対象は要望に基づいたものではない。

委員

他課実施の講座と内容が重複しているものがある。費用を考慮する と、統合して事業を行えないだろうか。具体例を把握しているか。

担当課

保険医療課のウォーキング講座や、文化の家の食の講座などに、類 似性があると考えている。

委員

市民のニーズを的確に捉え、講座の重複をしないよう工夫をしてほしい。

委員	健康志向のニーズがある高齢者は、講座に参加する以外にどのよう
	な動きがあるのだろうか。
担当課	各地区で自主的に体操をしたりする動きはある。今後、自主的な取
	り組みが広がっていくような支援をしていきたい。
委員	講座でのアンケート結果で、満足ではない方の意見はどのようなも
	のがあったか。
担当課	講座の内容が期待どおりではなかったという意見があった。
委員	不満を持っている人の意見内容を把握しないと、次に繋げることが
	できなくなる。なぜ不満なのかを探ってほしい。
委員	体操を広めるのが事業目的ならば、もっと大きい視点を成果指標と
	してもよいのでは。例えば、講座の参加者がさらに市民に普及を行う
	ことを成果指標とするなど。
委員	何を目的とするかをはっきりさせた成果指標でないといけない。
担当課	成果指標の立て方を考える。

まとめ	1 市民のニーズを的確に捉えるため、どういう情報を誰に提供する
	かを考えていただきたい。
	2 事業目的を達成するため、的確な目標設定を考えていただきたい。